

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和6年2月9日

公表:令和6年2月12日

事業所名 たまりばレド

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	活動や余暇時間の各々の過ごし方に合わせて、支援室の使い方を分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	3	2		職員の休みや送迎が重なってしまうことがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		体の大きな方にはトイレがやや小さいが、必要に応じて施設内の別のトイレを使用していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	毎日ミーティングを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	毎年行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	内部研修や外部研修に積極的に参加している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	保護者との面談でニーズを確認し、ニーズを基に計画作成をしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	毎月の活動を職員みんなで意見を出し合って決めている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	活動表を見比べて、毎月の活動が固定しすぎないようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	毎日、朝または昼のミーティングで、支援の役割分担や利用者様の情報共有を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	翌日にその日の振り返りを職員みんなでやっている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	振り返りで出た意見を用紙に記録し、利用者様の様子を振り返れるようにしている。	まだ定着が甘い部分があるため、引き続き行い、細かな記録を取っていけるように職員の意識付けを行っていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	必要に応じて電話連絡をして、下校時刻や災害時の対応について共有している。また送迎時に情報共有に努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4		該当者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	必要に応じて就学前に利用していた事業所へ見学へ行き、情報共有に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	相談員さんを通して、事業所での様子や情報提供を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	連絡ツールにて、その日の様子を写真とともに伝えている。また送迎時に直接、お話をしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時や重要事項説明書を変更した際にしっかりと説明をしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	送迎時や面談時にお話を聞いている。	保護者の方から相談をしやすいように日頃からの関係性作りに努めていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0		コロナが落ち着いてきたため、今年度は一度開催することが出来た。参加できなかった保護者からのニーズもあるため、また開催していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	毎月、翌月の活動予定表を作成し、おやつ作りやイベントなど特別な活動については別紙で詳細を作成して、25日以降に紙面にて配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	鍵付きの棚に個人ファイルは保管し、個人を特定できる書類はシュレッダーにかけて破棄している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	職員がいつでも見られる場所に設置されている。	いつでも見られる場所にあるが、知らない職員もいるため改めて周知していく。また、保護者への周知の方法を考えていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	年2回、火災や地震などの場面を想定して行っている。	急な対応が難しい方もいるため、1ヶ月又は2ヶ月に1回程度は避難訓練を行えるよう環境整備をしていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	虐待関連の新聞記事を回覧し、日々の支援について話し合う機会を設けたり、虐待防止研修に参加している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3		現在、該当者はいないが、該当する方が利用する場合にはしっかりと対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	書面にて記録し、いつでも見られるようにファイルに保管している。またミーティングなどで共有をして、再発防止に努めている。	ヒヤリハットのファイルの場所の共有があまりできていないため、全職員にどこにあるかを改めて共有していく。